

提供日：平成21年12月21日

担当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
(財団法人 日本花普及センター)

連絡先：03-3664-8739



ジャパンフラワーセレクション2009-2010 切花・鉢物部門 2009年秋のJFS推奨品種が決定しました

1. 概要

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション2009-2010」の切花・鉢物部門では、このたび秋審査会を、かんさいフラワーショー2009の会場で実施し、切花部門8品種、鉢物部門12品種が、業界の推奨品種として選定されました。

選定された品種は、認定登録を行うことにより、花の業界が推奨する品種として「JFS 受賞マーク」を表示して販売されることとなります。また、年末の中央審査委員会で年間を通じて決定する「フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）」「ベスト・フラワー（優秀賞）」「特別賞」の対象品種としてノミネートされました。



【実施概要】

- 審査会日時：2009年11月20日（金）9：30～12：00
- 開催場所：かんさいフラワーショー2009（花博記念公園鶴見緑地 水の館ホール：大阪市鶴見区）
（開催期間：2009年11月20日（金）～22日（日））
- 選定品種数：切花部門：8品種 / 鉢物部門：12品種

【審査委員】

国内の花き業界を代表する学識者、フラワーデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行ないました。

■ 切花部門

- 今西 英雄（東京農業大学 客員教授）（審査委員長）
- 大川 清（静岡大学 名誉教授）
- 奥田 芳彦（(株) なにわ花いちば 営業推進部長）
- 高橋 洋子（(有) すみれフローラルアート 代表取締役）
- 林 豊己（福岡県花き農業協同組合 生産流通部次長）
- 深井 誠一（香川県 農学部教授）



■ 鉢物部門

長岡 求 (株)フラワーオークションジャパン 取締役 (審査委員長)

石原記念男 (日本ハンギングバスケット協会 理事長)

腰岡 政二 (日本大学 生物資源科学部 教授)

高橋 正行 ((社)日本生花商協会 副会長)

高林 成年 (元京都植物園 園長)

藤原 孝 (兵庫県生花(株)大阪植物取引所 代表取締役専務)

2. 選定品種一覧および出品者

【切花部門】

部門	品目名	品種名	出品者
切花	バラ	M-マリーアントワネット	有限会社メルヘンローズ
切花	バラ	M-ペルジーク	有限会社メルヘンローズ
切花	バラ	ピュア・ベリー+	國枝バラ園
切花	バラ	ピュールパルファン+	國枝バラ園
切花	バラ	ラプソディ+	國枝バラ園
切花	トルコギキョウ	SO 八雲小町	島根県農林水産部農畜産振興課
切花	トルコギキョウ	クインアプリコット	小林金市
切花	トルコギキョウ	こまちホワイトドレス	秋田県農林水産技術センター農業試験場

【鉢物部門】

部門	品目名	品種名	出品者
鉢物	オンシジウム	トゥインクル ピーチファンタジー	有限会社宮川洋蘭
鉢物	シクラメン	プラチナリーフ ホワイト	長谷川園芸
鉢物	シクラメン	フレグランスミニ ロイヤルパープル	北興化学工業株式会社
鉢物	シクラメン	八重咲きライラックブルー	北興化学工業株式会社
鉢物	シンビジウム	苺の雫	株式会社向山蘭園
鉢物	シンビジウム	ゴールドラッシュ	株式会社向山蘭園
鉢物	シンビジウム	チャングム	株式会社向山蘭園
鉢物	ファレノプシス	サ克蘭	有限会社椎名洋ラン園
鉢物	ファレノプシス	リトルゼブラ	有限会社椎名洋ラン園
鉢物	ユーフォルビア	プリンセチア ホットピンク	サントリーフラワーズ株式会社
鉢物	ユーフォルビア	プリンセチア ピンクホワイト	サントリーフラワーズ株式会社
鉢物	ユーフォルビア	プリンセチア ルージュ	サントリーフラワーズ株式会社

3. 審査委員長の講評の概要

【切花部門】

切花部門では、バラ 5 品種、トルコギキョウ 3 品種が 今回の審査会で、優れた特性を持った品種と

して評価され、業界の推奨品種として選ばれた。

バラ『M-マリーアントワネット』は、スプレータイプで枝数が多くボリューム感があるうえ、花も比較的大きく、枝もしっかりしているので、花き卸・流通業者からすると小売店等にも勧めやすく、売りやすい品種である。また、フラワーデザインの観点では、花色と花型が可愛いという見た目だけでなく、使い勝手の面でも、1輪ずつ分けてアレンジメント等に分けて利用できる。また、生産面でもピンチなしで5～8輪同時開花する優れた特性を持つ点も評価された。



▲バラ『M-マリーアントワネット』

バラ『M-ペルジーク』は、フリル付きのシャクヤク(芍薬)タイプの新しい花型で、パステルカラーの花色が新しいバラのイメージを感じさせる。花色、花卉の形が可愛く、また茎のしなりが良い。



▲バラ『M-ペルジーク』

バラ『ピュア・ベリー+』は、咲き方がきれいで、花色も深くて美しい。また、花と茎のバランスがよい。花卉と色目の組み合わせも評価が高い。従来まで赤系のバラは多く流通するが、赤紫系のバラは珍しく希少性がある。咲き方のプロセスをアピールしている点も斬新で評価できる。

バラ『ピュールパルファン+』は、香りが強く、葉色もきれいで、バランスが良い白バラである。香りも長続きする。つぼみの状態ではチューリップ咲きになっている点もおもしろい。

バラ『ラブソディ+』は、従来品種のなかでは、大輪系のバラでピンク系が少なかったなかで今後期待がかかる品種である。さらに香りも良いという点も同系のバラでは珍しい。独特な雰囲気を持ち、花の色の大きさがエレガントで、豊かな感じを受けるバラである。



▲バラ『ピュア・ベリー+』



▲バラ『ピュールパルファン+』



▲バラ『ラブソディ+』

トルコギキョウ『SO 八雲小町』は、非常に優しい感じで、スイートピンク色の花色はかわいらしく、色目が良い。優しい雰囲気は用途を選ばず、幅広い場面での利用が期待できる。また、八重咲き花卉の中輪タイプは希少である。

トルコギキョウ『クインアプリコット』は、夏～秋の栽培に適す品種として使いやすい色目で、花卉のフリルも新鮮である。新奇性も高い。

トルコギキョウ『こまちホワイトドレス』は、半バラ咲きの花卉で使いやすい花型で、花の頭も揃っていてバランスが良い。上位に葉がつくという点も評価できる。



▲トルコギキョウ『SO 八雲小町』



▲トルコギキョウ『クインアプリコット』



▲トルコギキョウ『こまちホワイトドレス』

【鉢物部門】

鉢物部門では、出品された品種のレベルがいずれも高く、ユーフォルビア (=ポインセチア) 3 品種、シクラメン 3 品種、ファレノプシス 2 品種、シンビジウム 3 品種等、合計 12 品種の新品種が、審査の結果、推奨品種として選定された。各品種の審査講評は以下のとおりである。

シクラメン『八重咲きライラックブルー』はシクラメンには珍しい青紫色の花色を持ち、花型は八重咲きである。今現在で最も青色に近いシクラメンであり、育種技術としては最先端のものである。花色の新規性が高いうえ、八重咲きであることも評価が高い。さらに、一般的に八重咲き品種は、花持ちにも優れている。

シクラメン『プラチナリーフ ホワイト』は、銀白色に輝く葉が最大の特徴のシクラメンである。葉数が多く、作りやすくなっているうえ、花型が良く、品種としての完成度が高く、このことが高く評価された。葉の変化を楽しむという品種の方向性は、いかにも日本的な感性に訴えるところがある。

シクラメン『フレグランスミニ ロイヤルパープル』は、辺り一面に広がる、とても爽やかな香りが評価された。強い芳香性はインパクトがある。



▲シクラメン『八重咲きライラックブルー』 ▲シクラメン『プラチナリーフ ホワイト』 ▲シクラメン『フレグランスミニ
ロイヤルパープル』

シンビジウムは小型の草姿を特徴とする品種『チャングム』は、花色や花型は既存品種の中でもよく見かけるものであるが、コンパクトにした草姿が、近年の家庭環境にマッチしたものと評価され、『ゴールドラッシュ』は節間がよく詰まった花茎と、その花色は高く評価され、『苺の雫』は葉が立ち性で短く、花の配置が良いと評価された。

オンシジウム『トゥインクル ピーチファンタジー』は、従来までのクリーム色のトゥインクルから選抜された、ほのかなピンク色が特徴の品種。芳香性もよく、コンパクトなサイズで、商品性としても期待できる。場所も選ばず、いろいろな場面での活用が期待できる。



▲シンビジウム『チャングム』



▲シンビジウム『ゴールドラッシュ』



▲シンビジウム『苺の雫』



▲オンシジウム
『トゥインクル ピーチファンタジー』

ユーフォルビアのプリンセチア・シリーズの『ピンクホワイト』、『ホットピンク』、『ルージュ』は、いずれも分枝性に優れ、草姿がコンパクトにまとまり、葉及び花苞は幅が狭いなど、従来にはない特徴が新鮮である。品種ごとに花苞の色がそれぞれ違うが、3 品種とも優れており甲乙つけがたく、「プリンセチア・シリーズ」として3 品種共々高く評価したい。



▲ユーフォルビア『ピンクホワイト』



▲ユーフォルビア『ホットピンク』



▲ユーフォルビア『ルージュ』

ファレノプシス『リトルゼブラ』は白地に暗赤紫色のゼブラ模様が目立つ品種で、花は中輪、花茎につく花の節間は短く詰まり、全体としてコンパクトな草姿となることが高く評価された。

一方で、ファレノプシス『サクラン』は小輪系のピンクのファレノプシスで、葉が短く、花茎の節間が特に短く詰まることなど、従来のミニ系ファレノプシスにない草姿がよく、さらに2カ月に及ぶ長い花持ちが高く評価された。



▲ファレノプシス『リトルゼブラ』



▲ファレノプシス『サクラン』

■ お問い合わせ先

ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-6-17 山一ビル4階 (財)日本花普及センター内

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp

★過去の受賞品種はこちらをご覧ください。 <http://www.jf-selections.net>